



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	卒業研究
教科書	資料配付
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>外部講師の都合により、講義のタイトルや順序を変更して行う場合がある。            欠席した場合にはレポートを提出できないので注意すること。また、外部講師の方々に対して失礼のない受講態度を求める。            授業中に居眠りや内職をするなど態度の悪い者や、杜撰なレポートを提出する者に対しては適宜注意・指導を行い、それでもなお改善の見られない場合にはより厳しい措置を講ずるものとする。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>多くの学生が社会人として実社会に出る前に、各分野における最近の最先端のトピックや話題性の高いテーマ、最新の研究動向などに触れられるよい機会である。            また、講義の内容を的確に理解して、レポートに整理・まとめる力をつけたり、積極的に質疑に参加して議論に加わる力などをつけるチャンスでもあるので、ぜひ主体的・積極的に受講して欲しい。</p>	

**授 業 の 明 細**

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
第1回		経済記者が教える貸借対照表の読み方(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第2回		企業におけるITガバナンスの現状と課題(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第3回		会計制度とその国際化(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第4回		微分方程式の数値解析と経済・経営現象への応用(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第5回		環境経済学の基礎(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第6回		社会人の選択・戦略・成功(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第7回		身近な事例から学ぶ税務と会計(予定)	講義の内容をまとめるとともに、関連事項を調査してレポートを作成する。
第8回		授業改善アンケートの実施	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			45 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自 学 自 習</b>			15 時間